

第19回地域福祉実践研究セミナー
第3回地域福祉実践研究九州セミナー

みなまたセミナー

『力を創る』

～社会的包摂の実現に向けて～

熊本県水俣市

平成25年8月29日（木）～31日（土）

開催要綱

- 主催 水俣市社会福祉協議会 みなまたセミナー実行委員会
日本地域福祉研究所 日本地域福祉学会九州・沖縄部会
- 共催 熊本県社会福祉協議会 熊本県共同募金会 水俣市 水俣市議会
水俣市教育委員会 水俣市社会福祉事業団 水俣市振興公社
- 後援 九州社会福祉協議会連合会 日本地域福祉学会 熊本県 熊本県社会福祉士会
熊本県介護福祉士会 熊本県介護支援専門員協会 熊本県精神保健福祉士協会
熊本県医療ソーシャルワーカー協会 熊本県民生委員児童委員協議会 熊本大学
九州大学文学部地域福祉社会学研究室 熊本学園大学 九州看護福祉大学
熊本保健科学大学 熊本 YMCA 学院 熊本県民テレビ 熊本朝日放送 熊本放送
テレビ熊本 NHK 熊本放送局
- 協力 くまもと福祉のラウンドテーブル 芦北町社会福祉協議会 津奈木町社会福祉協議会
水俣市介護保険サービス事業者連絡協議会 ほっとはうす あばあこんね
あけぼの苑 くぎのの里

1 開催趣旨

かつての伝統的な家庭や地域の相互扶助機能は弱体し、地域住民相互の生活的・社会的なつながりも希薄化するなど地域社会が変容してきました。それに加え、少子高齢社会の到来、成長型社会の終焉、さらには近年の深刻な経済不況と社会的・経済的な不平等の拡大がこれに追い打ちをかけ、これまで無かった新たなニーズが出現し、福祉の領域や役割が広く大きくなってきています。

このような中、地域福祉活動への社会的な期待も一層大きくなっており、まさに真価を問われる変革の時期を迎えています。以前にも増して地域住民の自主的な助け合いなどの意義も大きくなり、特に地域福祉活動の中核として位置づけられている社会福祉協議会の役割は極めて重要となっています。

これからは将来を見据え、福祉活動を通じて地域を活性化させるものとして積極的な視点でとらえ、今こそ共に生きるまちづくりの力を創造し、発揮し、生活の拠点である地域に根ざした生活者として、それぞれの地域で誰もがその人らしい安心で充実した生活が送れるような地域社会を基盤とした地域福祉推進に努める必要があります。

そこで今回は、『力を創る』～社会的包摂の実現に向けて～と題し、「力」をテーマに登壇者のみならず参加者も含め、全員が力を出し合って開催するものです。

また、本セミナーを開催する水俣市は熊本県の最南端に位置し、世界に類をみない公害という大きな社会問題を経験した人口約 27,000 人のまちです。その中で、水俣市社会福祉協議会は 1953 年の設立以来、地道な地域福祉活動を展開し、1994 年にふれあいのまちづくり事業の指定を受け、「ふれあいネットワーク」を多数の市民の参加を得ながらボトムアップで構築しました。

このふれあいのまちづくり事業が誘い水となり、現在では介護予防にも力を入れた「地参地笑のみなまたづくり」へと、次々と新しい地域福祉実践を展開し、多くの成果を継続的に挙げています。

開催地である水俣市を舞台に 3 日間じっくりと、今後のまちづくりのあり方を社協関係者、福祉関係者、保健・医療関係者、地域福祉実践者、研究者と住民・現場を結び、地域福祉実践を豊かに展開することを目的に検証・協議・研究いたします。

2 本セミナーの特色

本セミナーは、わが国の地域福祉を理論・実践面でリードしている講師・アドバイザー陣により、質の高い実践的研修方法を採用しています。その特徴は次のとおりです。

- 地域福祉に関わる様々な分野の実践者が住民・とともに交流し討議することを通して、今後の地域福祉の実践に新たな見通しを拓きます。
- 地域福祉の先駆的な実践現場に集い、現場の実践を分析することによる臨場感に富んだ研修の場を提供します。
- 各分野のワークショップでは、コミュニティソーシャルワークを中心とし、参加者自身が課題を明らかにし、その課題解決の方策をアドバイザーとともに考察し、企画力・実践力の向上を図ります。
- ワークショップの達成課題を明らかにし、全体フィードバックでのプレゼンテーション・総括を通して、コミュニティソーシャルワーク・スキルの向上を図ります。
- 地域福祉の分析および課題解決の企画を通して、新しいトータルケアシステムとしての地域福祉構築とその実践方法としてのコミュニティソーシャルワークのあり方を探ります。

3 会 場 水俣市文化会館・もやい館（熊本県水俣市牧ノ内 3-1）
水俣市公民館（熊本県水俣市浜町 2-10-26） 他

4 対象者 日本地域福祉学会員 社会福祉協議会役職員 社会福祉施設役職員
民生委員児童委員 行政職員 学校関係者 地域保健・医療関係職員
学生・大学院生 その他社会福祉に関心のある方

※宿泊場所を水俣市以外で予定している方は大変申し訳ありませんが、水俣市内へご
変更ください。本セミナーでは水俣市内の宿泊を条件にさせていただきます。

5 日 程

【1日目】8月29日（木）

| | | | | | | | | | |
|-------|----------|--------|-------|--------|-------|--------|--------|-----------|-------|
| 13:00 | 13:30 | 14:30 | 14:00 | 15:00 | 15:15 | 16:30 | 18:30 | 19:00 | 20:30 |
| 受付 | 事前 企画 | 移 動 | 受付 | 開 会 | 基調講演 | シンポジウム | 移 動 | 名刺 交換会 | |

【2日目】8月30日（金）

| | | | |
|----------------|-------|--------|------------------|
| 9:00 | 17:00 | 18:00 | 20:00 |
| ワークショップ 1～6 | | 移 動 | 情報交換会 【学生交流会】 |

【3日目】8月31日（土）

| | | | |
|---------------|-------|--------|-------|
| 9:00 | 10:15 | 11:45 | 12:00 |
| ワークショップ 報告 | 総括講演 | 閉 会 | |

6 参加費

| | | |
|--------------------|--------------|---------------------------|
| セミナー参加費 | 7,500円 | ※学生・大学院生割引 3,500円 |
| 事前企画 | 29日（木）13:30～ | 1,000円 |
| 名刺交換会 | 29日（木）19:00～ | 3,500円 |
| ワークショップ 昼食 | 30日（金）12:00～ | 1,000円 |
| 情報交換会 学生交流会同時開催 | 30日（金）18:00～ | 3,500円 |
| | | 立食式 お弁当など ビュッフェスタイル |

7 参加申込 2013年7月31日（水）必着

参加申込書を水俣市社会福祉協議会へFAX（0966-63-3570）してください。

⇒参加申込書の水俣市社協記入欄に受付番号と指定口座を記して返信FAXをします。

⇒入金確認後、参加券を送付いたします。当日必ずご持参ください。

※お振り込み後の返金はできかねます。予めご了承ください。

※お振り込み手数料はご負担ください。（ゆうちょ銀行口座間のATM送金手数料は無料です）

※請求書が必要な場合は、参加申込書の請求書欄に○をしてください。

8 変更

FAX送信した参加申込書に変更箇所が判るように訂正をして、水俣市社会福祉協議会に再度FAX送信してください。

9 個人情報

参加申し込みに伴う個人情報は、本セミナーの実施に関する目的以外には使用いたしません。

10 写真撮影

本セミナー開催中、映像記録として写真等の撮影をいたします。撮影した画像は予告なくWeb、広報誌などで使用する場合がありますのでご了承下さい。

11 交通機関（下記は平成25年5月1日現在です）

(1) 空路

- ・ANA619 便羽田空港 6:35 発⇒鹿児島空港 8:20 着
- ・JAL1861 便羽田空港 6:20 発⇒鹿児島空港 8:00 着
- ・JAL1863 便羽田空港 8:15 発⇒鹿児島空港 9:55 着
- ・スカマーク 301 便羽田空港 9:05 発⇒鹿児島空港 11:00 着

○鹿児島空港からは水俣行きのリムジンバス(南国交通バス)をご利用ください(1日3往復)

- ・往路 鹿児島空港 9:45 発⇒水俣車庫 11:38 着 (ほっとハウスまで徒歩約3分)
鹿児島空港 12:25 発⇒水俣車庫 14:18 着 (市文化会館まで徒歩約3分)
鹿児島空港 14:55 発⇒水俣車庫 16:48 着 (前泊される方にお勧めです)
- ・復路 水俣車庫 9:54 発⇒鹿児島空港 11:47 着
水俣車庫 12:24 発⇒鹿児島空港 14:17 着
水俣車庫 15:44 発⇒鹿児島空港 17:37 着

(2) 九州新幹線(新水俣駅停車の新幹線は1時間に約1本です。ご注意ください。)

①事前企画参加の場合

新大阪駅 9:29 発 さくら 549 号(直通) ⇒ 博多駅 12:06 発 ⇒ 新水俣駅 13:09 着

②通常参加の場合

新大阪駅 10:26 発 のぞみ 13 号 ⇒ 博多駅 13:08 発 さくら 409 号 ⇒ 新水俣駅 14:14 着

(3) 九州自動車道 芦北 IC→国道3号線を南下約40分

12 宿泊 ⇒各自でご手配ください。下記施設は参考です。

| | | | |
|---------------|--------------|--------------|---------------------------|
| スーパーホテルCity水俣 | 水俣市大黒町1-1-38 | 0966-63-9000 | minamata@superhotel.co.jp |
| 海と夕やけ | 湯の児温泉 | 0966-62-6262 | info@umitoyuyake.com |
| 山海館 | 湯の児温泉 | 0966-63-1092 | info@sankaikan.com |
| 昇陽館 | 湯の児温泉 | 0966-63-4121 | info@shoyokan.com |
| 鶴水荘 | 湯の鶴温泉 | 0966-68-0033 | http://turumisou.com |
| あさひ荘 | 湯の鶴温泉 | 0966-68-0111 | info@asahisou.jp |

13 お問い合わせ先

○日本地域福祉研究所 〒162-0854 東京都新宿区市谷本村町 3-27-3F

☎03-5225-0237 FAX03-5225-0238

メール jicw@nifty.com URL <http://www.jicw.jp>

○水俣市社会福祉協議会 〒867-0005 熊本県水俣市牧ノ内 3 番 1 号

☎0966-63-2047 FAX0966-63-3570

メール info@minamata-shakyo.jp URL <http://www.minamata-shakyo.jp/>

プログラム

1日目 8月29日(木)

☆事前企画 13:30~14:30

会場:ほっとはうす

「水俣病から宝物を伝えるプログラム」

水俣病から人権・社会福祉・環境を発信する共同トーク。胎児性患者が挑戦するかのよう獲得した生きざまを語る。その中に、希望が未来につながる世界が見える。

☆開会式 基調講演 シンポジウム

会場:水俣市文化会館

15:00~ 開会 挨拶 オリエンテーション

15:15~ 基調講演 「伝えるということ」 白土謙二氏 (株)電通 特命顧問



1952年生まれ。77年電通入社、以来約20年間クリエイティブディレクター、CMプランナー、コピーライターをつとめ、企業の経営・事業戦略、商品開発、ブランドコミュニケーションなど、戦略と表現の両面から、あらゆる領域の統合的コンサルティングを行う。数々のエピソードを持ち、『伝えるということ』がどんなことなのか、それを生み出す「哲学」と「奥義」を語る。

16:30~ シンポジウム 「伝える力」



【発題者】 倉本哲男氏 愛知教育大学(教職大学院)教授

1963年生まれ。水俣市出身。熊本大学在学中にワシントン大学に留学。九州大学で博士号(教育学)取得。水俣市立第一小学校、袋小学校、佐賀大学准教授を経て現在に至る。専門はアメリカ教育学(Curriculum Study)、日本の教育実践の研究。

【発題者】川本愛一郎氏 水俣病語り部



1958年生まれ。作業療法士・言語聴覚士・(有)リハシップ あい 代表取締役。祖父は一本釣り漁師だったが、水俣病劇症型で死亡(未認定)。父川本輝夫は、自らも水俣病認定患者であるが、祖父の死を通して、人間としての尊厳を理不尽に奪われた幾多の水俣病患者・被害者の存在を知り、病身をおしてその救済と回復に生涯をささげた。現在、父が遺した志＝「人間としての尊厳を支える」を地域で実現すべく、介護保険事業所を運営している。

【コーディネーター】 宮城 孝 日本地域福祉研究所 法政大学



1957年生まれ。日本地域福祉研究所副理事長、厚生労働省安心生活創造事業推進検討委員会委員など。日本社会事業大学、神戸山手女子短期大学、東海大学を経て現職。現在、東日本大震災の被災地の地域再生支援に取り組む。日本地域福祉学会復興支援担当特任理事。専門領域は、ボランティア・NPO活動、コミュニティソーシャルワークや地域福祉計画などの地域福祉実践。

☆名刺交換会

19:00~ 会場:ほっとはうす(会場の都合により、ご希望に添えない場合があります)

2日目 8月30日(金) 9:00~17:00 ワークショップ

ワークショップ1 【支えあう力：小地域ネットワーク】

テーマ：住民チームと専門職チームのネットワークでまちづくり

ファシリテーター：森本佳樹 日本地域福祉学会（立教大学）

アドバイザー：小野敏明 日本地域福祉研究所（田園調布学園大学）

事例報告者：3区ふれあいネットワーク

小地域ネットワークからふれあい・いきいきサロン、さらには地域のお茶の間を創る地域リビング活動まで、これまで水俣市社協が住民と共に取り組んできた活動をもとに、これからの地域における住民と専門職の連携について考察します。

ワークショップ2 【寄り添う力：認知症】

テーマ：「忘れてよかよ みんながおるたい」認知症とともに ※専用バスで約30分移動します

ファシリテーター・事例報告者：水俣市久木野地域

アドバイザー：國光登志子 日本地域福祉研究所（立正大学）

医療機関や介護サービス事業所などが集中している市街地に比べ、山間地域は社会資源が乏しく、住民からは介護サービス事業の参入を望む声が絶えません。中山間地域で取り組んできた事業所と地域住民の協働による地域生活支援を検証し、今後の取り組み方法を研究討議します。

ワークショップ3 【護る力：権利擁護】

テーマ：支えあいで護る仕組みづくり

ファシリテーター：和田 要 日本地域福祉学会九州部会（熊本学園大学）

アドバイザー：青山登志夫 日本地域福祉研究所（主任研究員）

事例報告者：芥川智之氏 山鹿市社会福祉協議会

虐待や消費者被害、介護サービスへの苦情など、同じ地域住民の目線で支援する市民後見人の育成を各地で進めています。実際に地域の中で暮らす人の権利擁護活動を住民の支えあいで進め、それをどのように支援していくか、そのあり方やシステム構築方法を探求します。

ワークショップ4 【包む力：ひきこもり】

テーマ：地域福祉セーフティネットの構築方法

ファシリテーター：菱沼幹男 日本地域福祉研究所（日本社会事業大学）

アドバイザー：田中英樹 日本地域福祉研究所（早稲田大学）

事例報告者：越智和子 日本地域福祉学会（琴平町社会福祉協議会）

従来の福祉行政では対応できない、施策の狭間に入ってしまう様々な課題が増えています。声を拾いにくい引きこもり問題などをテーマに、果たすべきCSWの役割を確認し、関連する職種と連携しながら社会包摂と自立支援に役立つシステムづくりを考察します。

ワークショップ5 【つなぐ力：連携】

テーマ：保健・医療・福祉のチームアプローチ

ファシリテーター：佐藤林正 日本地域福祉学会九州部会（九州看護福祉大学）

アドバイザー：神山裕美 日本地域福祉研究所（山梨県立大学）

事例報告者：水俣市医療福祉関係者

在宅療養体制の整備が求められていますが、個別の事例を見ると、一人ひとりの生活が継続的に支援できるシームレスな関係づくりが十分ではありません。事例をとおして専門職や地域住民とともに支援していくことができる在宅での保健・医療・福祉の専門多職種の連携・チームアプローチを検討します。

ワークショップ6 【築く力：社協活動】

テーマ：関係機関の連携の要になるために

ファシリテーター・アドバイザー：原田正樹 日本地域福祉研究所（日本福祉大学）

事例報告者：西 いく子（都城市社会福祉協議会）

地域課題が山積され、その解決を求められている社会福祉協議会。もういちど原点に立ち返り、地域福祉活動の中核として、住民や各関係団体とともに地域福祉活動を実施するための多機関連携の要となるには何が必要なのか、参加者とともに探求します。

☆情報交換会

17:30～ 会場：スカイレストランえむず(エムズシティ5階)

3日目 8月31日(土) 9:00～12:00 もやい館3階 もやいホール

☆ワークショップ報告

9:00～【コディネーター】 高橋信幸 日本地域福祉研究所 主任研究員

☆総括講演

10:40～ 大橋謙策 日本地域福祉研究所 理事長



住民主体の地域医療福祉実践を通じた地域福祉計画の策定方法の確立、社会福祉士養成のカリキュラム改正やコミュニティソーシャルワークの提案など幅広い研究、実践活動をされてきた日本の社会福祉界の第一人者。日本社会事業大学社会福祉学部卒業、東京大学大学院教育学研究科博士課程修了。元日本社会事業大学学長、東北福祉大学大学院特任教授 など。

☆閉会式 11:45～

周辺地図



みなまたセミナー参加申込書

FAX0966-63-3570

送信票は
不要です

申込締切日:平成25年7月31日(水) お申込はFAXにてお願いします

新規申込 変更 ←いずれかにしを付けてください

記入日 月 日

| | | | | | | | | | | |
|---|---------------------------------------|----------------------|-----|-----|-------|-----|-------|--|--|--|
| 所属先名 | | | | | | | ご担当者名 | | | |
| 住所 | | 〒 — ※参加券等送付先をご記入ください | | | | | | | | |
| 電話番号 | | | | | FAX番号 | | | | | |
| No. | 例 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | | | | |
| フリガナ | ミナまたろう | | | | | | | | | |
| 参加者氏名 | 水俣太郎 | | | | | | | | | |
| 役職名 | 地域福祉課長 | | | | | | | | | |
| 参加費 7,500円 | ○ | | | | | | | | | |
| 学生・大学院生 3,500円 | | | | | | | | | | |
| 事前企画 1,000円 | ○ | | | | | | | | | |
| 名刺交換会 3,500円 | ○ | | | | | | | | | |
| 昼食 1,000円 | ○ | | | | | | | | | |
| 情報交換会 3,500円 | ○ | | | | | | | | | |
| シ ョ ッ ク | 第1希望 | 4 | | | | | | | | |
| | 第2希望 | 1 | | | | | | | | |
| 手話通訳の希望 | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 有・無 | 有・無 | 有・無 | 有・無 | 有・無 | 有・無 | | | |
| 介護の希望 | 有・ <input checked="" type="radio"/> 無 | 有・無 | 有・無 | 有・無 | 有・無 | 有・無 | 有・無 | | | |
| 交通手段 1 JR 2 空港リムジンバス 3 貸切バス 4 自家用車 5 その他 | 3 | | | | | | | | | |
| 合計金額 | 16,500 | | | | | | | | | |
| <備考・特記事項> | | | | | | | | | | |

●駐車台数に限りがありますので、できる限り公共交通機関をご利用ください。

請求書

必要・不要

合計

円

水俣市社協記入欄

受付No.

【お問合せ】水俣市社会福祉協議会 担当:田代・松本 電話 0966-63-2047

ご変更の場合はこの用紙に変更箇所がわかるように訂正をして再度FAXしてください